

小学校長会会長賞

堺市立 深阪小学校 六年

福崎 奨太

犯罪や非行の無い社会

「自分たちの歳の子らでも、たくさん捕つとるよ。」

この言葉は、非行防止教室で、警察署の方が言っていた言葉です。私はこの言葉を聞いてとても驚いたことを覚えています。この日から犯罪や非行について考えました。調べてみると、たくさん大人のだけでなく、私たちのような年頃の子たちも犯罪を犯すことが本当にあるようでした。それだけでなく、たく山の犯罪に巻きこまれていく事実もわかりました。

何も悪いことをしていないのに、犯罪に巻きこまれるなんて絶対におかしいと思います。私はこの社会がもっと明るくなるように、次の三つの提案をしたいと思います。

一つ目の提案は「相手のことをしっかり考えよう」です。相手がどのような感じているかは外見からは見えません。もしかしたら口に出していないだけで、自分の行動は相手を傷つけてしまっているのかもしれない。それが現実であっても、インターネットの中でもそうです。相手への思いやりが足りないために大きなトラブルや犯罪につながったりするので行動を起こすときは一つ

一つ相手の立場に立って考えることが大切だと考えます。

二つ目の提案は「ネットを正しく使おう」です。インターネットでアプリをダウンロードするときや、知らない相手から来たメールをチェックするときは、もしかするとそのサイトが詐欺サイトなどにつながっていることがあるそうです。その中で運悪くだまされてお金を支払ってしまう事件があると聞きました。お金だけではなくSNSから誘拐などに巻きこまれてしまう事件なども後を絶たないようです。私はこの事件一つ一つが知識不足によるものではないかと思えます。私たちが受けた非行防止教室のように、学校でもネットの使い方について学ぶ機会を増やし、家でも親と子が一緒にネットについての正しい知識を深めるべきだと思います。正しい知識を持つことで、ネットの上でも慎重になり、犯罪に巻きこまれる可能性が低くなるを考えました。

三つ目は「みんなであいさつしよう」です。あいさつをすると周りに住んでいる地域の人の顔を覚え、声をかけ合うことでつながりが生まれます。普段からコミュニケーションをとってつなが

っておくことで、いざというときに必ず助け合えるからです。地域の団結力が高まってくれば、犯罪者も手を出しにくくなると考えました。

以上、三つの提案を述べましたが、三つだけで大丈夫だろうかという意見があるかもしれません。もちろん私も三つだけで社会が明るくなるとは考えていません。犯罪は日々、社会の進歩とともに姿を変えて私たちの周りに現れます。でも、いつ犯罪が現れても、自分だけで抱えこんでしまうのでは無く、相手の話を良く聴き、正しい知識で周りと協力しながら解決しようとするのが大切なのではないのでしょうか。

